



誕生おめでとう

4/26・星野
保護者||良一・まき子



八幡遥奈ちゃん

5/6・五日市
保護者||祐輔・千恵子



上方 渚くん

5/21・田子
保護者||康志・志穂



大上優空くん

5/27・中村
保護者||信一・薫



千葉翼くん



やすらかに

〔世帯主〕

西村	繁治	(37)	車門	常雄
城内	定吉	(80)	浦子内	竹行
田野	トキ	(68)	馬場	広
上野	辰四郎	(81)	茶屋場	辰四郎
芳田	芳雄	(69)	吉ヶ沢	馨
津澤	道夫	(67)	触沢	キワ
遠藤	勉	(35)	茶屋場	勇吉

～以上 5月届け出分・敬称略～

※広報に載せてほしくない方は届け出のときに係にお話してください。

町の人口

17.6.1現在 (前月比)

男	4,158人	(-14)
女	4,355人	(+4)
計	8,513人	(-10)
世帯数	2,923戸	(-2)

(住民基本台帳)

葛巻町合併50周年 回顧録

昭和46年当時の消防分署とポンプ車両



昭和30年代に使ったガソリンポンプ



合併当時のポンプ操法 (第1分団から第3分団)

昭和三十年八月、町消防団の発団式が行われました。合併当時、半数を占めていた腕用ポンプが小型ポンプとなり、すべての機動化が完了したのは昭和四十四年でした。一年後、常備消防の葛巻分署が新町地区に開設されました。以来、消防団本部の事務も行う葛巻独自の形で、分署員と消防団員が一体となり消防業務に励んでいます。

町で起きた最大の火災は昭和五十一年五月田部地区の林野火災で、二日間にわたって燃え続け、九戸村の一部を含めて百十七軒が消失しました。消防団員や自衛隊員など七百人が懸命に消火にあたりました。

町の消防活動は明治三十六年、青年有志が結成した「葛巻青年共益団」に始まります。一世紀以上にわたり団員が一丸となって続けてきた活動が認められ、平成六年日本消防協会長から消防団最高の荣誉である特別表彰の「まとい」を受賞しています。消防操法でも全国大会に過去三回出場。先人の知恵と努力が伝統として受け継がれ、町消防団の発展につながっています。

広報室から



◎ミニサッカー大会の日は、土ほこりでみんな真っ黒。子どもたちが懸命にボールを追う姿は、かわいらしかったり、頼もしかったり。そんな子どもたちを分け隔てなく一生懸命応援する父母の姿はとてほほえましく、その場にいられる喜びを感じました。▽親子が一緒にいられる時間は限りがあります。親も子どもそんな時間を大切にしたいと思いました。自分自身の反省から…。(落合)

◎十卒の「ハイ、元気です」に登場してくれたマツヨおばあちゃん。終始絶やさない笑顔に、思わずこちらもニッコリ。取材を終えた後も、にやけた顔がなかなか元に戻りませんでした。つられ笑いのおかげで、何をしても楽しい気分であることができたこの日、改めて笑顔でいることの大切さを感じました。(星野)